

南無ちゃんのブログ 2013年7月

7月1日(月) 果樹のお世話.....	2
7月2日(火) CQ WW Contest 2012 CW の賞状.....	2
7月4日(木) 梅雨時の鮎釣り.....	3
7月5日(金) 虫取り(デバッグ).....	3
7月6日(土) 夏のナイスセーリング.....	4
7月7日(日) 長い夏の始まり.....	4
7月8日(月) 梅雨明け.....	5
7月9日(火) 千代川遠征(初日).....	6
7月10日(水) 千代川遠征(二日目).....	6
7月11日(木) 千代川遠征(三日目).....	7
7月12日(金) 千代川遠征(四日目).....	8
7月13日(土) 蜂に刺されたよ.....	8
7月14日(日) 共同作業(草刈) & お宮の掃除+総会.....	9
7月15日(月) 海の日は海へ行く.....	10
7月16日(火) 日野川(霞).....	11
7月17日(水) フロントガラスの修理.....	11
7月19日(金) 佐治川.....	12
7月20日(土) 土用隠れ.....	13
7月21日(日) 往路は順風.....	14
7月22日(月) 7月2回目の防除.....	14
7月23日(火) 新アカの付き始めた八東川にて.....	15
7月24日(水) 逃げた魚は大きかった.....	16
7月25日(木) 蛇に捕食された蛙.....	16
7月26日(金) 車の作りやうは、夏をむねとすべし.....	17
7月27日(土) 第二種電気工事士技能試験の失敗談.....	17
7月28日(日) 肥料の効果歴然.....	18
7月29日(月) 7.28 水害被災.....	19
7月30日(火) 水害復興二日目.....	20
7月31日(水) 水害復興三日目.....	20

7月1日(月) 果樹のお世話

今日はほぼ一日中曇り空でしたので、農作業には適した天気でした。朝からブドウ園に行って、誘引、芽かぎをしてから、圃場内をFIMASAOで草刈しました。

午後からは自家消費用に栽培しているイチジクの枝を誘引したり、支柱を立てて枝が折れないように補強しました。イチジクの苗はブドウと同じく昨年購入したので二年目なのですが、早くも今年から収穫できそうです。



7月2日(火) CQ WW Contest 2012 CWの賞状

CW WW Contest 2012 CW, 28MHz Single Band Single Operator 部門で JA4 エリアトップになったので、賞状が届きました。日本で5位、アジアで12位でした。

賞状をもらうにはエリアトップ以上の順位になる必要があるのですが、同じスコアでもどの部門にエントリーするのかによって明暗が分かれてしまいます。SSB部門にも参加しましたが、SO HP ALLにエントリーしましたが JA4 エリアで3位だったので賞状はもらえませんでした。

来週末は IARU Championship が開催されますが、生憎、町内会の草刈とダブっています。



7月4日(木) 梅雨時の鮎釣り

昨日から一泊で千代川に行ってきました。風が強くて、河原や用瀬の本流は竿が出せません。10m/s以上の突風が吹き、常時7m位の強さです。7~8m/sの南風が吹くことは天気予報で知っていましたが、トホホです。

仕方がないので、昨日は船岡方面に、今日の午前中は曳田川に行きましたが、いずれも芳しくありませんでした。午後からは河原町釜口の本流に入りましたが、直ぐに雨が振り初めたので小降りになるのを待ちましたが、降ったり止んだりの繰り返しでした。時には大粒の雨が激しく降りました。午後5時頃になると濁りが出始めたので止めて家路につきました。釣果は二日で約20尾と淋しい結果でした。

智頭のあたりでは泥濁りになっていて、激しく降っていました。この様子では二三日間は下流でも友釣りは無理かも知れません。考えようによっては、釣果こそ芳しくありませんでしたが、梅雨のあいまに鮎釣りを楽しむことができ良かったということですね。

7月5日(金) 虫取り(デバッグ)

ソフトウェアの話ではありません。ブドウ園での話です。私のブドウ園では今のところ大した病害も虫害もなく順調に生育していますが、少数のコガネムシ類がブドウの葉を食害しています。この手の虫に対する決め手になるような農薬は無いようなので、見つけ次第に捕殺することになっています。今日もヒメコガネを4匹程捕殺しました。捕殺活動の成果なのか近頃ではあまり見かけなくなりました。この手のコガネムシ類は放置しておくともどんどん集まってきます。しまいにはそこらじゅうで交接しています。生き物というのは食べることとSEXすることが基本なのでしょうか?! プラス、寝ることでしょうか……



7月6日(土) 夏のナイスセーリング

二週間ぶりに牛窓にヨットの乗りに行きました。千代川への釣行では強風に悩まされましたし、昨日はブドウ園でもかなりの強風が吹いていました。ヨットなら風と遊べるので、楽しみにして行きました。(瀬戸内海の夏というのは無風のことが多いのです。)

昨日は30ktを越える風だったそうですが、今日は比較的穏やかで15kt位の風でした。セーリングには快適な風です。いつものように小豆島の大阪城残石記念公園までの往復をセーリングして楽しみました。

どうやら明日は一雨来そうですが、週間天気予報によると月曜日からは停滞前線が北上して、暑くなりそうな気配です。



7月7日(日) 長い夏の始まり

関東地方は梅雨明けしたそうですが、当地では雨が降ったり止んだりの天気だったので梅雨明け宣言を見送ったのは正解だと思います。今年は梅雨入りが早かったのも、梅雨明けも早いのでしょうか？

年によっては、7月末頃になってもぐずつくことがあります。早く梅雨明けすると、その分だけ長い夏になりそうです。昨日ぐらいから当地ではニイニイゼミが鳴き始めています。この蝉の泣き声を聞くと夏の始まりを感じます。

今日は朝一番から有害鳥獣駆除活動に参加しました。今回の参加が初めてでした。有害駆除班に名前を連ねて頂いているので、少しは協力しなければと思って参加しました。地区を巡回しているときに、我が家の田んぼの近くに設置されている巣箱から、青い翼のブッポウソウが飛び立つのを目撃しました。こんな巣箱に居ついていることにビックリしました。ブッポウソウは吉備中央町指定の天然記念物です。(http://www.town.kibichuo.lg.jp/?page_id=464)

昼過ぎから、キャンピング車に換気扇を設置するときに取り外した天井を取り付ける作業をしました。梅雨の間に、ネジなどから雨漏りする箇所があれば、早期に見つけて対処したいと思ってずっと放置していましたが、そろそろ梅雨もおしまいようですし、1箇所だけ手直しすることもできたので、そろそろ天井を復旧して本格的な鮎シーズンに備えたいと思ったのです。



7月8日(月) 梅雨明け

やっぱりね！って感じですが、本日午前11時に、中国地方も梅雨明けしたと発表されました。昼前から、夏らしい猛暑になりました。

私は朝一番から7月第一回目の防除作業を行い、その後引き続き昼まで誘引、芽かぎ、虫取り作業をしました。

午後からは鮎釣りの準備をしたり、電気工事士試験の勉強をして過ごしました。

夕方には、再びブドウ園に行き、灌水しました。

今夕、ヒグラシ(カナカナゼミ)が鳴くのを、この夏初めて聞きました。梅雨明けも宣言されたし、夏本番です。



7月9日(火) 千代川遠征(初日)

梅雨明けしたことだし、川の水も平水に戻ったようなので、千代川に鮎釣り遠征に来ています。鮎漁師のOさんと一緒に釣行しました。

最初の1尾からスムーズにゲットできて爆釣の予感です。午前中約20尾、午後約20尾で合計約40尾の釣果でした。サイズ的には15~16cmが多くて、たまに20cmが混ざるような状況でしたが、私にとっては爆釣なので、大満足です。やっぱり、鮎釣りは平日に限るわ！！



夕方、弱った鮎を背開きにして、一夜干しにしました。先日Uさんに頂いた鮎の一夜干しが美味しくて、家族にも好評だったので、自分で作ることに挑戦しました。ちゃんと、一夜干し用の籠も持参しました。

7月10日(水) 千代川遠征(二日目)

今日も天気だ！鮎が釣れる！！

平日だと言うのに、千代川が爆釣だという噂を聞きつけたのか、朝5時位から川原に何台もの車がやって来て、6時頃には川に入られる熱心な釣りキチの方が何名もいらっやいます。

7月10日の午前中に入ったポイント(河原のRC上流の瀬)は、もぬけの殻のような感じで反応が今一でした。正午頃に少し下流の瀬肩でコロガシをやっていた方が帰られたので、そこに移動しました。コロガシと友釣りとは釣法が違うので、釣れる鮎も違う筈だという説を信じてチャレンジしました。結果はマルで、20cmクラスの良型の鮎が5~6匹連荘で掛かりました。

昼からは千代川特有の海風が強くなったので、7.2mの竿に替えて誰も居なくなった瀬をやってみました。ここも反応がいまひとつでした。右岸側のチャラ瀬を見ると小型の鮎がいっぱい居て、きれいに石が磨かれていたので、上飛ばしで泳がせると、鮎が掛かると目印が飛んで、面白い釣りができました。チャラ瀬の鮎は全般的には小ぶりですが、中には良型も混じっていました。

夕方まで雨も降らず、雷もなく良好な天候で楽しく釣りができました。



7月11日(木) 千代川遠征(三日目)

暑い日が続いているので、千代川も釣りあれ気味というか、土用隠れが始まっているのか11日の釣果は寂しいものでした。水温が高いため、釣った鮎の元気が持続しないのです。鮎釣りは循環の釣りなので、水温の高さは悪循環の一つの要因になり得ます。

釣った鮎は、川の中に網かごに入れて生かしていますが、それでも数匹の鮎は死んだり元気がなくなったりします。生きの悪い鮎をそのままにしておくと死んでしまうので、一夜干しにします。背開きにして、塩水に少し浸してから網籠で一晩干します。これを、火で炙ると酒の肴になります。



7月12日(金) 千代川遠征(四日目)

鮎釣り遠征も四日目です。今日も猛暑日の予想で、既に午前8時の時点で道端の温度表示は31℃を示していました。朝から南風が強かったので、風裏を探して船岡に行きましたが、心当たりのポイントは既に先客で埋まっていました。仕方がないので、本流に戻って、釜口の下流に行きました。昨日のこともあるので、慎重にポイントを選びました。このポイントには、昨日、2人の釣り人が左岸から入っていたのを見ていたので、私はいきなり川を渡って右岸から釣りはじめました。今日は最初の3匹位は連続で簡単に釣れてしまいました。最初にパパッと掛かると好循環になります。今日は12時で止めて帰路につきました。結局今日の釣果は12匹でした。

家に帰る途中で、鏡野のアウトレットに寄って、次回遠征用の食料品を購入。家に帰ると直ぐにブドウ園に行って灌水を30分位しました。



7月13日(土) 蜂に刺されたよ

今日は家でキャンピング車の掃除やブドウ園で農作業などをしました。4日間も放置しておく、伸び盛りのブドウの蔓は、それなりに成長していましたので、誘引や芽かぎには、いつも以上に時間がかかりました。10時頃までは雲が多くてしのぎ易かったのですが、段々と陽射しが強くなり、11時頃には農作業を中断しました。

昼食の後で昼寝していると夕立が降ってきましたが、15分程で止みました。もう少し降れば灌水の手間が省けるのにも思いましたが、なかなか思い通りにはなりません。

午後4時頃から再びブドウ園に行って作業の続きをしました。

午前中、ブドウ園で芽かぎ作業をしていると、左手の中指にチクとした刺激がありました。何かと思えば、蜂がブドウの葉の裏に巣を作っているではありませんか。蜂は一匹だけで、巣を護るために私を威嚇したのでしょうか。後で、インターネットで調べると、蜂はどうやらコアシナガバチ(スズメバチ属)のようです。恐らく、女王蜂が一匹で産卵、営巣などを行っているのでしょうか。巣の黄色の部分には蜂の幼虫が入っていました。写真の蜂は産卵しているのかもしれませんが。

中指は少し腫れましたが、夕方までには腫れは収まりました。大事に至らず、良かったです。
夕方、農作業を再会したときに、キンチョールを噴霧すると、地面に転げ落ちたので、すかさず
剪定鋏で胴体を切断しました。巣も除去しました。



7月14日(日) 共同作業(草刈) & お宮の掃除+総会

今日は町内会デイでした。午前中は共同作業(草刈)で、8時から11時過ぎまで刈り払い機で
道端の草刈をしました。午後からは、お宮の掃除の後、お宮で氏子の総会に参加しました。総会
の途中から夕立が降り始めました。昨日の夕立よりも少し時間が長かったようですので、今日もブ
ドウ園の灌水はパスしました。



写真は、我が家の畑に咲いているひまわりです。高さ3mくらいはあろうかというノッポさんです。

7月15日(月) 海の日は海へ行く

今日は海の日、「海の恩恵に感謝し海洋国日本の繁栄を願う日」とのこと。だからという訳ではないけど、牛窓にヨットに乗りに行きました。今朝、8時頃家を出る時、雨が降っていましたが、なんとか舟が出せることを願って牛窓に向かいました。ヨットハーバーに着いた頃には雨は上がっていました。一時、この辺りでは大雨警報が出ていたようです。

沖に出ると10kt位の風が吹いていたので、セーリングを始めましたが、暫くして風が弱くなり、雷が鳴り始めて雲行きが怪しくなったので、帰港することにしましたが、その直後に土砂降りの雨に見舞われました。



キャビンで昼食の後に、2時過ぎには解散しました。私はキャンピングカーの中で少し昼寝して、4時過ぎには帰宅しました。

家に帰ってから、家庭菜園の手入れをしました。①バジルの支柱を強化、②ズッキーニの収穫(今年初めて)、③ズッキーニとトウモロコシの圃場の草取りをしました。我が家のあたりも相当の雨が降ったようで、地面が柔らかくなっていたので、草取りには適した状態になっていました。

6月3日に種の芽出しを開始し、6月18日に定植したズッキーニとトウモロコシですが、ズッキーニの方はもう収穫できる程に成長しました。トウモロコシの方は成長の早いものでも未だ草丈1m位で、花も無い状態です。ズッキーニの方は1本の苗から20個位の実を順次収穫することができますが、トウモロコシの方は1本の苗に1つの実を付けさせるのみです。どちらが良いとか比較するつもりはありませんが、トウモロコシはそれだけ株数が必要であり、ズッキーニは株数が少なくても十分だと言えます。



7月16日(火) 日野川(霞)

今日は、今年初めて町内の釣友であるHさんと一緒に、日野川の上流部である生山(霞)行きました。昨日、鳥取県や岡山県では大雨が降ったのですが、国交省の雨量・水位情報を調べたところ、日野川の上流である多里の累加雨量は36mmで、霞の水位は降雨前よりも20cm高と、他処と比べると増水の程度が小さく、鮎釣りができるだろうと考えたのです。ちなみに、根雨の累加雨量は171mm、江府の累加雨量は229mmでした。溝口では、昨夜の時点で降水前よりも1.4m高くなっていたので、下流ではとても竿は出せません。千代川も昨夜の時点で、河原で40cm程増水しているようでした。

オトリ屋さんに話では「生山よりも霞の方が良いかも」ということだったので、霞に行きました。濁りもなく、晴天で絶好の鮎釣り日和でした。

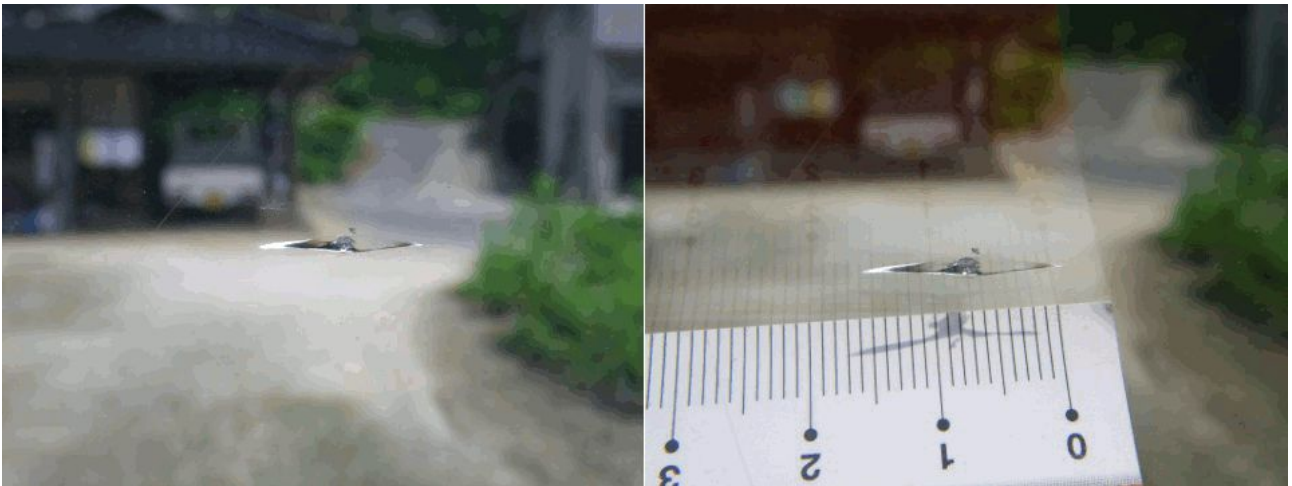
午前中4尾、午後8尾と低釣でした。釣れた鮎の約半数が15cm以下の小型サイズでしたので、気持ち寂しい感じでした。とは言え、鮎友と一緒に鮎釣りができれば満足なのです。

写真 スーパーの裏



7月17日(水) フロントガラスの修理

実は1年程前に気付いていたのですが、キャンピングカーのフロントガラスに飛び石が原因と思われる傷(ひび割れ)があります。フロントガラス全部を取り替えるとなると結構な修理代になりそうですが、このまま放置しても自然治癒は期待できません。小さな傷なら修理できるという話を聞いたので、補修してもらうことにしました。今日午後1時に自動車修理工場に車を持ち込んで補修してもらったところ、ひびは全く気付かないほどに無くなりました。石の当たった部分の表面の傷だけは残っています。この補修に15,000円かかりました。これが高いか安いかは良く分からないのですが、傷が大きくなるんじゃないだろうかと日々心を痛めることを思えば修理して良かったと思います。



朝7時からブドウ園に行って、①誘引、②芽かぎ、③虫取り、④草取りをしました。朝の内は霧がでていたり、霧が晴れた後も曇り気味だったので、涼しく作業ができました。

午後4時頃からF1 MASAOでブドウ園の草刈をしました。30aのブドウ園の草刈を約1時間で終わることができました。

この機械(F1 MASAO)の稼働率は、我が家のどの農機具よりも高く、買って良かったと思っています。草刈が早く済んで、時間に余裕ができたので、明日からまた鮎釣りに出かけようと思います。



7月19日(金) 佐治川

昨日(7月18日)は、千代川の水もそろそろ引いた頃だろうと思って、家を朝6時前に出発しました。8時頃に智頭を通過した時に、川を見ると濁流になっていました。河原でも川が濁りはじめていました。八東川も同様でした。途中で鳥取道から見た佐治川はクリアだったので、佐治川に行きました。佐治川には、湖産の鮎を結構な量、放流されているらしいのです。

佐治川沿いの道路から川を見ると、それ程魚影は濃くはありませんが、鮎は見えました。しかし、車を留める場所と川に入る場所がなかなか見当たりません。結局、小原という地名のところに駐車スペースを見つけたので、車を留めて、少し歩いて川に入りました。

川相は良いと思うのですが、最初の一尾がなかなか釣れません。最初の一尾を釣ったのは11時を回っていた頃です。その場所で粘って、10尾ばかり釣りました。18~20cmの良型の鮎でした。その場所から上流に向かって釣りあがりましたが、まったく反応がありません。1時を回ったので、

川から上がることを決心して川を上流に向かって歩いたのですが、両側が高い護岸に囲われていて、出口がなかなか見当たりませんでした。

さらに上流に向かって川の中を歩いていると、投網を撃っている人が居たので、どこから上がれば良いのかを尋ねると、丁度自分も上がるので一緒に行こうということになり、ついて行きました。

遅い昼飯の後で、さらに上流の佐治中学校のあるあたりに入りましたが、ちっとも掛かりませんでした。4時頃を回ると、上流のダムが放水を始めたのか、増水してきましたので川から上がりました。

帰り道で川を見ていると、投網を打つ人を見かけました。佐治川は、投網が盛んなようです。川への出入りする場所も限られているようなので、よそ者が鮎釣りするには不向きなようです。



7月20日(土) 土用隠れ

夏の土用というのは立秋の前の18日間を言うらしく、2013年の場合は7月19日が土用の入りだったそうです。つまり、昨日が土用の入りということですね。

こういう暑い時期になると、鮎釣りファンにとっては難儀です。なにしろ鮎がパタリと釣れなくなってしまうのですから。何処かに隠れているんじゃないかというので、土用隠れと呼ばれたりします。Oさんの話によると、この時は第二生殖期と呼ばれ、これから雄雌の区別がはっきりしてくるようです。ということは、暑いから土用隠れということではなくて、生理的なものなので水の冷たい川でも土用隠れはあるということです。水の冷たい川だと桜前線と同様に少しは時期がずれるかもしれませんがね。

流石Oさんは鮎の養殖もしていたとのことで、詳しいです。ついでにBBQをしながら、鮎の串焼きを時の串の打ち方について教えていただきました。串で鮎をなるべく傷つけないように、焼いている時に鮎が回転したり、ずり落ちたりしないように、そして最後に串を抜いて皿に盛った時に美しく鮎が泳いでるように見えるようにするのが肝要なそうです。写真 鮎の串打ち

土曜日は朝7時過ぎに河原を出発して、9時半頃に帰宅しました。帰宅後、午前中はキャンピン

グカーを掃除したり、洗い物などをしてゆっくり過ごしました。昼間はあまりに暑いので、昼寝をして体を休めて、午後4時頃からブドウ園に行って農作業をしました。5時半頃から30分程夕立があったので、灌水の手間が省けました。

7月21日(日) 往路は順風

今日は、小鮎の唐揚げと大鮎の塩焼きを持ってヨットに乗りに行きました。天気は快晴で、東の風が約12~14kt吹いていてセーリングには良好な条件でした。

いつものように、小豆島の大阪城残石記念公園(石切)に行きました。往路の上空では、セスナ機が爆音を響かせてアクロバット飛行を楽しんでいました。往路は風に対して上りなので、みかけの風速は実際の風速を上回るため、暑い陽射しながらも、涼しさを感じる風でした。

石切で昼食を摂り、帰路に就く頃には風も弱まり始めていました。復路は追い風なので、ジェネカーを出していましたが、上手くジャイブできないほど風が弱くなり、最後には無風になってしまったので、汽走で帰りました。



7月22日(月) 7月2回目の防除

早朝からブドウ園に行って7月2回目の防除を行いました。後は、8月と9月に1回ずつで今年の防除はお仕舞いの予定です。ブドウの若木は、今のところさしたる病害や虫害にも遭わず、すくすくと育っています。

防除の後で、太陽光発電所の草刈をしました。太陽光発電所の周囲には、芝の種を蒔いているのですが、他の雑草の天下になっています。最初の内は、手で草取りをしていましたが、もはや手が付けられない状態になってしまいましたので、F1 MASAO(乗用草刈機)に出動してもらいました。

2時半頃から30分程夕立が降りました。今日も灌水の手間が省けました。夕立が止んでからブドウ園に行って、誘引、芽かぎ、虫取り作業を行いました。



7月23日(火) 新アカの付き始めた八東川にて

先週の日曜日に3mを越える大水が出た八東川では、白川になってしまったそうです。この処若桜で夕立が降ったりして水が不安定な八東川でしたが、昨日位から新しいアカが付き始めたようです。

Oさんと一緒に八東川の某橋の上流に入りました。ここは人気のポイントらしいのですが、今日は駐車スペースが空いていました。

土用隠れも幾分あるのでしょうか、今日の釣果は約20尾でした。バラしが片手以上ありました。中でも、鼻環糸がビニールチューブから外れた状態のものを使っていたら、キャッチする度に、オトリをリリースしてしまったのには閉口しました。やっぱり鼻環糸は、瞬間接着剤で固めておく必要があると痛感しました。

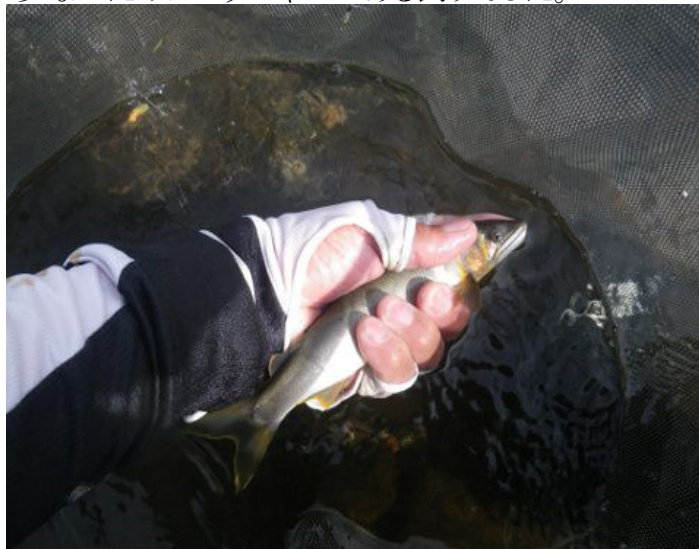


7月24日(水) 逃げた魚は大きかった

今日も引続き八東川に行き、昨日とは別の場所に入りました。緩い流れの所だったので、ナイロン糸で泳がせ釣りをしたら、直ぐに掛かりました。ところが、掛かった鮎が大きかったのか、取り込む際に、思い切って抜いた瞬間にプツンと糸が切れてしまいました。最初の一尾目で親子どんぶりとは情けなや！ やっぱり、ナイロン糸は金属糸に比べて弱いのかなあ？

今日は川の中にも無茶苦茶暑い日でした。何度も手動で自分の頭の上だけに降水させました。引き舟の中に小石を入れて沈めたり、足で踏んで沈めたりして、暑いのが故に余分な仕事が増えて大変でした。

結局4時頃まで釣って、10尾位の釣果でした。何とかオトリを繋ぐことができたのですが、オトリが弱っても交代要員が少ないためプレッシャーのある釣りでした。



7月25日(木) 蛇に捕食された蛙

今朝、いつものようにブドウ園に行って農作業をしていると、「きゅいひいひい」という断末魔に喘ぐ蛙の鳴き声がしました。過去の経験から、これは蛇に啜えられた蛙の鳴き声ではないかしらとピンとききました。周囲を窺うと、やっぱりそうでした。胴の直径1cm程の1年生と思われる蛇が蛙を啜えていました。ちょっとグロテスクな写真ですが、これも普通の食物連鎖ということで大目に見てください。



7月26日(金) 車の作りやうは、夏をむねとすべし

暑い日が続いています。私の家は標高450mというロケーションに建っているのですが、風通しも良く、結構涼しいのですが、鮎釣り遠征に出た時の家であるキャンピングカーで快適に過ごすためには、ホント、「車の作りやうは夏をむねとすべし」です。

特に、リバーサイドホテルとして使用するために、防虫対策は重要です。

この前、小澤さんに車を見せて貰ったときに、ハイエース用防虫ネットが取り付けられていました。後部ハッチのゴムパッキンに防虫ネットの縁が挟み込まれているのを見て、「こりゃ良いわ！」と思いました。学習の成果を反映すべく、私のハイエースに取り付けていたレース風のカーテンの両脇をゴムパッキンに挟み込みました。それまでは、養生テープやマスキングテープなどで、必要な時に接着していましたが、その手間が省けてGooです。ついでに、遮光カーテン専用のカーテンレールをレース風のカーテンの内側に取り付けました。そのカーテンレールは竹製です。藪に行き女子竹を切ってきました。材料費は0円です。



午前中は、刈り払い機で太陽光発電所の草刈、水タンクの清掃をしてから、電気工事士試験の勉強をしました。午後2時過ぎから夕立が降ったので、ブドウの灌水はパスしました。

7月27日(土) 第二種電気工事士技能試験の失敗談

本日(7月27日)、第二種電気工事士技能試験を受験しました。9月6日の合格発表を待つまでもなく、不合格であることは明白な結果でした。試験のテーマである作品を制限時間内に仕上げることができませんでした。電線を切っただけで、全部を接続するに至らなかったのです。日頃、電気工事をしている訳でもなく、特別に技能訓練を受けた訳でもない私にとって、40分の試験時間がこんなに短いとは思いませんでした。

本に書いてあった通りに、①単線図を元に複線図を描く、②電線の切断長と被覆の剥ぎ取り長を図に描く、③電線を切断する、④電線の被覆を剥ぎ取る・・・というような手順でやっていたら、接続し始めたところで試験終了になってしまいました。④までの作業は完璧にできていたであろうという自信はありますが、完成していないじゃあ話になりません。

何が原因だったのか、何を改善すれば合格できるのかを忘れない内にまとめておきました。

- ①複線図を書かなくても単線図から直接配線できるように訓練すること。
- ②電線の切断長は、問題を見れば暗算して切断できるように訓練すること。

③被覆の剥ぎ取り長は、一々図面化しなくても作業できるように訓練すること。

④切断や剥ぎ取りの作業が手早くできるように、ストリッパーなどの工具を揃えて、使用方法を習熟すること。

何しろ、私が図面を書いている時から、周囲ではストリッパーで被覆を剥く音がしていたのには閉口しました。40分の試験時間の間に図面なんて書く暇はないのです。また、工具として、切断にはペンチ、剥ぎ取りには電工ナイフを使いましたが、これでは速度が遅いことを痛感しました。やっぱり道具は重要です。

技能試験ですから、頭で分かっているけど、手が早く正確に動かねばなりません。それ程難易度の高い試験ではないかと思っていたのですが、受験してみて、熟練が必要であることを痛感しました。

隠居の身なので、受験に失敗したからといって痛くも痒くもないのですが、久しぶりに挫折感を味わいました。

年に一度しか受験のチャンスがないので、次回(来年)は是非合格できるように準備したいと思います。



7月28日(日) 肥料の効果歴然



写真の右側と左側は同じ日に種を蒔いて、同じ日に定植したズッキーニです。写真を撮ったカメラの高さは同じで、望遠倍率も同じなので、写真ほどに大きさが異なるのです。

同じ畑なのですが、多分、左側の方は醗酵鶏糞を与えなかった場所だったように思います。苦土石灰は両方とも同じように撒いたつもりです。

こんなにも肥料の有無で違いがでるとは・・・ビックリしました。今後の野菜作りなどにこの経験を生かしていきたいと思います。経験を肥やしにしくちゃね！

今朝は曇りだったので、ブドウ園に行って、誘引、芽かぎ、虫取りの作業をしました。昼前にポツリと雨が落ち始めたので、家に帰りました。その後、雨は止み、5時過ぎになってようやく雨らしい雨が降り始めました。お陰で、今日も灌水はパスできました。

7月29日(月) 7.28 水害被災

昨日(7月29日)から、家内の実家(山口県萩市田万川町)が水害に遭い、床上浸水したとの報を受け見舞いと復旧の手伝いに来ています。道路はなんとか通行できたので、車で家の近くまで行くことができました。

到着するまでは、床下浸水くらいかなあと思っていました。ゴミの痕が軒下にまでついていて、凄い高さにまで達したことを物語っていました。この家に住む老老介護の年寄り夫婦は二階に避難して無事だったのですが、隣の家や倉庫は流されていたので、増水中はさぞかし怖かったことでしょう。近くの川(田万川)が氾濫して、家の鴨居のあたりにまで達していました。ここまで浸水すると、家電製品や車や工具、機械などはすべて使用不能になっています。畳や布団も使えませんが、家の中もただ単に水が入ったというだけでなく、浮力によってあらゆる物が浮いてしまうためなのか、散乱しています。おまけに、濁流のためか、泥が2センチ位積もっていました。

電力は昨日のうちに復旧しましたが、殆どの電気製品が使用不能になってしまったため、使えるのは照明器具くらいなものです。携帯電話も一部のキャリア(私の使用しているキャリア)は通信不能の状態です。水道がまだ復旧していないので、水没した様々なものを洗うこともできません。水道は早く復旧して欲しいものです。

居間や食堂、座敷などの居室から物を運び出して、泥をかき出す作業をしたのですが、田舎の家なので床面積だけはやたらに広いため、手付かずの部屋や建物がまだまだ沢山あります。後片付けには未だ当分かかりそうです。



7月30日(火) 水害復興二日目

7月30日は水害復興二日目でした。冷蔵庫や洗濯機などを大物家電を廃棄するために家の外に出していたら、早速、リサイクル業者が引き取りに来られました。もちろん無料です。エアコンの室内外機も容赦なく取り外していかれました。まるでハイエナのような感じです。話を聞くと、水害などを災害があると、緊急に引き取りのために出動するそうで、早い者勝ちとのこと。いろんなビジネスがありますねえ！

車も後片付けの邪魔になるので、業者に引き取ってもらいました。スクラップにするというのが、引き取った業者にはいくらかの利益があるのでしょうか？

私の携帯電話とデータ端末は未だ使えません。AUとSBは使えるようなので、使えないのは「ドコモだけ」です。こんなことで「ドコモだけ」を出さなくても良いのにねえ！なんてこった。(昨日は別のセルエリアに移動してブログをアップしたし、今日は娘が来たので娘のiPadをルータにしてアップしました。)

田万川河口付近の田万川温泉は被災者支援のために無料で開放されているので、私達も昨日は早めに作業を切り上げて温泉に行きました。



7月31日(水) 水害復興三日目

昨夕、娘を益田駅に迎えに行ったついでに高圧洗浄機を買いました。前から買おうかどうしようかと思っていたのですが、今回は家内の実家の水害復興にぜひとも必要なツールだということで購入しました。昨日の内に、井戸のポンプが動作することを確認していましたので、今朝から高圧洗浄機が活躍しました。

要介護Ⅲの義父は介護施設にショートステイしてもらうことになったので、義母が生活できる環境を整えることを目標に作業をしました。二階は無事だったため、寝るところは確保できていたので、トイレや風呂場の洗浄、炊事ができる場の整備をしました。

臨時にキャンピングカーに搭載していたコンロと冷蔵庫を使ってもらうことにして、なんとか形になりました。廃棄した冷蔵庫や洗濯機の代品として、我が家にある使用していない(娘がアパートで使用していた)物を持って来れば、当面の間は凌げるでしょう。

浄化槽のバッキポンプも動作したので、水洗トイレも井戸水をバケツで流せば使用できます。水道が復旧すれば、温水器が使用できるかどうかは別にして、暑い時期なので行水くらいはできるでしょう。



電気製品や車が水に弱いのにに対して、ポンプ関係は丈夫だということには感心しました。構造がシンプルだということと、元々水を扱う電機製品として防水とまではいかななくても、ある程度は水に強く作られているのでしょう。

午後7時頃、義母と娘を残して、家内と一緒に自宅に向かいました。今、高速道路の深夜割引料金を適用してもらうために、賀陽 IC の手前の高梁 PA で時間調整しながらブログをアップしています。